

平成29年度

事業報告書

公益財団法人福島県障がい者スポーツ協会

1 事業活動方針

障がい者の積極的なスポーツ活動を通じて、その心身の健康増進、機能回復を図り、もって障がい者の社会参加を促進した。

また、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定し、大会開催後のオリンピック・パラリンピックレガシーとして、夢を叶え目標を達成した選手・役員らが本県の障がい者スポーツを牽引し、障がい者が地域においてさまざまなスポーツ体験や活動ができる環境が、本県のスポーツ文化として恒久的に遺るために必要なさまざまな角度からアプローチを行い、関係団体と連携しながら選手の発掘・育成・強化を行うとともに、障がい者スポーツの裾野拡大を図った。

2 事業内容（概要）

(1) 障がい者スポーツ大会の開催及び奨励（決算額：14,626,402円）

障がい者が身近な地域において、日常的にスポーツに取り組める環境の整備や、全国障害者スポーツ大会の出場等を通して、障がい者の社会参加の促進を図った。

①団体スポーツ活動支援事業 12件

ア 障がい者スポーツ指導者協議会各支部への助成

イ 県内障がい者団体、障がい者福祉団体への助成

②福島県障がい者総合体育大会の開催

期日：平成29年5月21日（日） 会場：会津若松市

参加者：13競技1,647人

③全国障害者スポーツ大会選手団の派遣事業

期日：平成29年10月26日（木）～31日（火） 会場：愛媛県

派遣人数：62名（選手36名、役員26名）

④2017ジャパンパラ陸上競技大会開催支援事業

ア 平成29年度パラ陸上競技審判実践講習会

期日：平成29年7月22日（土）～23日（日） 延べ109名参加

イ 2017ジャパンパラ陸上競技大会支援

期日：平成29年9月23日（土）～24日（日）

(2) 障がい者スポーツ指導者の養成及び資質向上（決算額：964,720円）

障がい者が安心してスポーツに取り組める環境を整備するため、障がい者スポーツ指導員の指導技術を高めるほかに、事業の企画・運営など地域の特色に合わせたマネジメントができる指導員の育成を図った。

①初級指導者養成講習会の開催

実施日：平成29年9月16日（土）～9月18日（月） 受講生：19名

②障がい者スポーツ指導員の講習会等への派遣 2名

中級・上級資格取得のための支援(2名)

③福島県障がい者スポーツ指導者協議会の運営支援

(3) 障がい者スポーツ団体並びに関連団体の育成及び支援(決算額:1,270,672円)

特別支援学校卒業後など、競技に取り組める環境づくりをするために、障がい者の各種競技団体を育成・支援し、継続してスポーツをする環境の整備を図った。

①団体競技強化支援事業 3団体

(グラウンドソフトボール・車椅子バスケットボール・知的バスケットボール)

(4) 障がい者スポーツ選手の競技力の向上(決算額:6,064,064円)

2020年東京パラリンピックに向け、障がい者の積極的な活動を通じた社会参加及び自立を促進するため、本県選手の発掘・育成・強化を行うとともに、競技指導者・競技団体への支援を行い、障がい者スポーツの裾野拡大を図った。

「パラリンピック選手等育成強化事業」

①各種助成事業 24件

ア 国際大会等出場者への助成(2件(2個人))

イ 全国スポーツ競技会等出場への助成(22件(13団体・9個人))

②運動導入教室の開催 毎週木曜日 63回 延べ370名

③種目別教室の開催 13種目 延べ91回 1,668名

④県内各障がい者スポーツ大会への支援 8件

⑤国際障がい者アスリート・指導者育成のための英会話講習

10回 延べ23名(選手3名)

⑥ふくしまパラアスリート支援事業・ふくしまパラコーチ育成支援事業

23名指定(選手16名・コーチ7名)

(5) 障がい者スポーツに関する普及啓発及び広報(決算額:530,472円)

協会広報紙を発行し広く情報を発信するとともに、ホームページ等を活用し、広く情報提供等を行った。

①協会広報紙の発行 1回(平成30年3月)発行部数2,000部/回

・送付先 個人472人、団体1,328団体

(6) 障がい者スポーツに関する相談、指導及び調査研究(決算額:137,837円)

国及び県のスポーツ推進に関わる会議等に参加し情報収集を図ると共に、前例のない障がい等に対応する競技用具の研究開発にあたった。

- ①各種障がい者スポーツに関する会議等への出席 2回
- ②日本障がい者スポーツ学会への出席 3名

(7) その他の事業 (決算額 : 4,427,476 円)

自治体及び企業等が主催する障がい者を含めた事業に対し、障がいをお持ちの方が安心して参加するために主催者に対し助言・支援を行った。

また、学校教育における障がい者スポーツ関連授業等に対し、講師の派遣を斡旋するなどの協力をし、障がい者スポーツ・福祉への理解を深めた。

さらに、地域において障がい者スポーツの振興を深めるため、各地域でスポーツ教室等を開催した。

①チャレンジド・スポーツ支援事業

ア ジャンボリーキャンプ開催事業

女子車いすバスケットボール若手世代育成合宿

期 日 : 平成 29 年 4 月 14 日 (金) ~ 16 日 (日)

参加者 : 専門講師 1 名、講師 3 名、補助員 1 名、参加選手 10 名

イ ウィルチェアラグビー強化支援

・日本代表合宿支援 (平成 29 年 4 月 3 日 (月) ~ 9 日 (土))

・ウィルチェアラグビー教室開催支援 全 8 回 延べ 41 名参加

ウ チャレンジドスポーツ教室開催 全 9 回 延べ 156 名参加

②公益財団法人日本障がい者スポーツ協会委託事業

ア 地区スポーツ教室

指導者協議会と連携し、地域での障がい者スポーツ教室や大会を開催した。

イ 陸上競技審判実践講習会

平成 29 年 7 月 22 日 (土) ~ 23 日 (日) 延べ 109 名参加

ウ 総合型地域スポーツクラブ協働トライアウト事業

・いわしろスポーツクラブとの協働事業 全 4 回 延べ 233 名参加

・はらまちクラブとの協働事業 全 3 回 延べ 36 名参加

(8) 協会の運営 (決算額 : 501,679 円)

本県の障がい者スポーツの振興を推進していく中核的組織を目指し、組織基盤の充実強化と各種事業の推進に努めた。

①理事会・評議員会の開催

②賛助会員拡大に向けた活動及び協賛企業確保に向けた活動

③各種助成金・補助金の獲得

④障がい者スポーツ医科学委員会設置 1回

3 事業内容（詳細）

[公益事業] (1) 障がい者スポーツ大会の開催及び奨励

事業名	①団体スポーツ活動支援事業	決算額	341,482 円
目的	県内の障がい者団体等が、地域において主体的に開催する社会参加と自立、日常生活の充実を促すスポーツをとおして交流が深まる事業について助成する		
内容	<p>○事業概要</p> <p>本県障がい者スポーツの推進に寄与している、障がい者を対象にスポーツ事業を展開している団体に対し、予算の範囲内において事業の一部を助成する。</p> <p>○平成 29 年度実績</p> <p>① 障がい者スポーツ指導者協議会各支部への助成 助成先：4 支部（県北、県中、会津、いわき） 助成額：176,888 円（50,000 円×2 支部、46,388 円×1 支部、30,500 円×1 支部）</p> <p>② 県内障がい者競技団体、障がい者福祉団体への助成 助成先：8 団体 助成額：160,000 円（20,000 円×8 団体）</p>		
参考			

事業名	②福島県障がい者総合体育大会の開催	決算額	3,097,345 円																																										
目的	<p>障がい者が、スポーツを通じて、心身の健康維持・増進を図るとともに積極的な社会参加意識と社会的自立を促進し、あわせて県民の障がい者に対する理解を深めることを目的とする。</p> <p>なお、本大会は、第17回全国障害者スポーツ大会（愛顔つなぐえひめ大会）個人競技の予選を兼ねるものとする。</p> <p>ただし、全国大会派遣種目、選手の決定等については、大会後に開催する選考会を経て、福島県の総合的な判断により決定する。</p>																																												
内容	<p>○大会概要</p> <p>期日：平成29年5月21日（日）</p> <p>種目・会場：13競技・会場は下記のとおり</p> <table border="1" data-bbox="408 792 1337 1697"> <thead> <tr> <th>競技種目</th> <th>障がい種別</th> <th>会場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>陸上競技</td> <td>身体・知的・精神</td> <td>あいづ陸上競技場</td> </tr> <tr> <td>フライングディスク競技</td> <td>身体・知的・精神</td> <td>あいづドーム</td> </tr> <tr> <td>卓球競技</td> <td>身体・知的・精神</td> <td>鶴ヶ城体育館</td> </tr> <tr> <td>サウンドテーブルテニス競技</td> <td>身体</td> <td>身体障害者療護施設アガッセ</td> </tr> <tr> <td>アーチェリー競技</td> <td>身体</td> <td>白龍山泰雲寺アーチェリーレンジ</td> </tr> <tr> <td>サッカー競技</td> <td>知的</td> <td>会津総合運動公園サッカー・ラグビー場</td> </tr> <tr> <td>バスケットボール競技</td> <td>知的</td> <td>あいづ総合体育館（メインアリーナ）</td> </tr> <tr> <td>車椅子バスケットボール競技</td> <td>身体</td> <td>公立大学法人会津大学体育館</td> </tr> <tr> <td>バレーボール競技</td> <td>精神・聴覚</td> <td>あいづ総合体育館（サブアリーナ）</td> </tr> <tr> <td>水泳競技</td> <td>身体・知的・精神</td> <td>会津若松市コミュニティプール</td> </tr> <tr> <td>ソフトボール競技</td> <td>知的</td> <td>会津総合運動公園多目的広場</td> </tr> <tr> <td>グランドソフトボール競技</td> <td>身体</td> <td>会津総合運動公園多目的広場</td> </tr> <tr> <td>ボッチャ競技</td> <td>身体</td> <td>河東総合体育館</td> </tr> </tbody> </table> <p>参加者：選手 1,647 人、大会・競技役員 332 人、補助員 368 人</p> <p>○会議</p> <p>平成29年4月18日 第55回大会 第2回運営委員会</p> <p>平成30年2月7日 第56回大会 第1回運営委員会</p>			競技種目	障がい種別	会場	陸上競技	身体・知的・精神	あいづ陸上競技場	フライングディスク競技	身体・知的・精神	あいづドーム	卓球競技	身体・知的・精神	鶴ヶ城体育館	サウンドテーブルテニス競技	身体	身体障害者療護施設アガッセ	アーチェリー競技	身体	白龍山泰雲寺アーチェリーレンジ	サッカー競技	知的	会津総合運動公園サッカー・ラグビー場	バスケットボール競技	知的	あいづ総合体育館（メインアリーナ）	車椅子バスケットボール競技	身体	公立大学法人会津大学体育館	バレーボール競技	精神・聴覚	あいづ総合体育館（サブアリーナ）	水泳競技	身体・知的・精神	会津若松市コミュニティプール	ソフトボール競技	知的	会津総合運動公園多目的広場	グランドソフトボール競技	身体	会津総合運動公園多目的広場	ボッチャ競技	身体	河東総合体育館
競技種目	障がい種別	会場																																											
陸上競技	身体・知的・精神	あいづ陸上競技場																																											
フライングディスク競技	身体・知的・精神	あいづドーム																																											
卓球競技	身体・知的・精神	鶴ヶ城体育館																																											
サウンドテーブルテニス競技	身体	身体障害者療護施設アガッセ																																											
アーチェリー競技	身体	白龍山泰雲寺アーチェリーレンジ																																											
サッカー競技	知的	会津総合運動公園サッカー・ラグビー場																																											
バスケットボール競技	知的	あいづ総合体育館（メインアリーナ）																																											
車椅子バスケットボール競技	身体	公立大学法人会津大学体育館																																											
バレーボール競技	精神・聴覚	あいづ総合体育館（サブアリーナ）																																											
水泳競技	身体・知的・精神	会津若松市コミュニティプール																																											
ソフトボール競技	知的	会津総合運動公園多目的広場																																											
グランドソフトボール競技	身体	会津総合運動公園多目的広場																																											
ボッチャ競技	身体	河東総合体育館																																											
参考																																													

事業名	③全国障害者スポーツ大会福島県選手団派遣事業（愛顔つなぐえひめ大会）	決算額	10,845,928 円
目的	福島県障がい者総合体育大会に出場した選手のうち、選手選考会議を経て本県代表選手について派遣する。		
内容	<p>○第17回全国障害者スポーツ大会（愛顔つなぐえひめ大会）への選手団派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣期間：平成29年10月26日（木）結団式 同27日（金）公式練習 同28日（土）開会式 同29日（日）2日目 同30日（月）閉会式 同31日（火）帰県（解団式） ・派遣人数：選手36名、役員26名 ・大会規模：参加選手3,288名、役員2,285名 ・出場競技 個人競技 5競技 陸上競技（身・知）、水泳（身・知）、アーチェリー（身）、卓球（身・知）（サウンドテーブルテニス（身）を含む）、フライングディスク（身・知）、 ※団体競技は出場なし。 <p>○「全国障害者スポーツ大会（愛顔つなぐえひめ大会）」選手選考会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催：福島県 ・期日：平成29年6月2日（金） 		
参考			

事業名	④ 2017 ジャパンパラ陸上競技大会開催支援事業	決算額	341,647 円
目的	2017 ジャパンパラ陸上競技大会の福島県開催に向け、国際パラリンピック委員会の陸上競技規則に基づいた大会の実施の図るため、審判等講習会を実施する。		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度パラ陸上競技審判実践講習会 実施日：平成 29 年 7 月 22 日（土）～23 日（日） 会 場：とうほうみんなのスタジアム 受講生：109 名 共 催：福島パラ陸上競技協会 講 師：（一社）日本パラ陸上競技連盟 競技運営委員会 審判部 宮田 英明 氏 ・2017 ジャパンパラ陸上競技大会支援 大会当日（平成 29 年 9 月 23 日（土）～24 日（日））、総務補助員 1 名、福島県障がい者スポーツ医科学委員 1 名を派遣。 		
参考			

[公益事業] (2)障がい者スポーツ指導者の養成及び資質向上

事業名	①初級指導者養成講習会開催事業	決算額	268,545 円
目的	障がい者スポーツ指導者を養成し、県内の各種大会における活動によって、障がい者スポーツの普及・振興に寄与することを目的とし、福島県障がい者スポーツ指導者養成講習会を実施する。		
内容	<p>○平成 29 年度福島県障がい者スポーツ指導者養成講習会の開催</p> <p>実施日：平成 29 年 9 月 16 日（土）～9 月 18 日（月）</p> <p>会場：あづま総合運動公園内体育館及び研修室</p> <p>受講生：19 名</p> <p>共催：福島県教育委員会、福島県障がい者スポーツ指導者協議会</p> <p>後援：（公財）福島県体育協会、（公財）日本障がい者スポーツ協会</p>		
参考	※福島県スポーツ推進基本計画で、障がい者スポーツ指導員の増員を提唱している。また、教育関係者が受講しやすいように教育委員会に共催していただいた。		

事業名	②障がい者スポーツ指導員育成支援事業	決算額	395,635 円
目的	上級資格取得、専門資格取得講習会に派遣し、専門指導の知識を高め、指導者に対する指導ができる人材の育成を促し、安全な事業運営に努めるための専門知識のある指導者を養成する。		
内容	<p>○講習会等への派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上級障がい者スポーツ指導員資格取得講習会 <ul style="list-style-type: none"> 開催日：(前期)平成29年8月25日(金)～28日(月) (後期)平成29年11月4日(木)～7日(日) 会場：前期：大阪市長居障がい者スポーツセンター 後期：大阪市舞洲障がい者スポーツセンター 派遣人数：1名 ・中級障がい者スポーツ指導者資格取得講習会 <ul style="list-style-type: none"> 開催日：(前期)平成30年1月13日(土)～14日(日) 平成30年1月20日(土)～21日(日) (後期)平成29年3月10日(土)～11日(日) 平成30年3月17日(土)～18日(日) 会場：ふれあいランド岩手 派遣人数：1名 		
参考			

事業名	③福島県障がい者スポーツ指導者協議会運営事業	決算額	300,540 円
目的	<p>当協会の内部組織である「福島県障がい者スポーツ指導者協議会（専門部による指導者への指導、支部（6支部7地区）」による地域スポーツの振興、競技部による専門競技団体との連携、専門指導力及び当事者の競技力向上、地域スポーツの振興を図るための環境を整備するために、福島県障がい者スポーツ指導者協議会の運営を支援する。</p>		
内容	<p>○福島県障がい者スポーツ指導者協議会総会 開催日：平成 29 年 5 月 27 日（土） 会 場：いわきサンアビリティ</p> <p>○役員会の開催 2か月に一度の役員会を開催し、各部の進捗状況確認と指導を実施</p> <p>○各部会（各部運営委員会）の開催 3か月に一度、各部会の開催</p>		
参考			

[公益事業] (3) 障がい者スポーツ団体並びに関連団体の育成及び支援

事業名	①団体競技強化支援事業	決算額	1,270,672 円
目的	第17回全国障害者スポーツ大会（愛顔つなぐえひめ大会）北海道東北地区予選会に福島県選抜として出場する団体に対し、予算の範囲内で交通費、宿泊費、参加費を助成する。		
内容	<p>○助成先</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グランドソフトボール競技 実施日：平成29年6月11日（日） 会 場：宮城教育大学附属小学校校庭 宮城県立視覚支援学校校庭 結 果：4位 助成額：174,760 円 ・ 車椅子バスケットボール競技 実施日：平成29年6月17日（土）～18日（日） 会 場：札幌市清田区体育館 結 果：3位 助成額：751,702 円 ・ 知的バスケットボール競技（男女） 実施日：平成29年6月24日（土）～25日（日） 会場：カメイアリーナ仙台 結果：男女とも3位 助成額：257,850 円 		
参考	<p>[出場経歴]（全国障害者スポーツ大会） バスケットボール競技（第1回宮城大会） グランドソフトボール競技（第9回新潟大会） 聴覚障がいバレーボール競技（第11回山口大会） 精神障がいバレーボール競技（第1回宮城大会（公開競技））</p>		

[公益事業] (4) 障がい者スポーツ選手の競技力向上

事業名	①各種助成事業	決算額	625,588 円
目的	<p>パラリンピック、デフリンピックなどに日本代表として出場する選手・役員に対して激励金を贈呈する。</p> <p>競技力向上を目指す選手・役員や、全国大会等に出場する選手に対して助成をし、財政的支援を行う。</p>		
内容	<p>ア 国際大会等出場助成事業</p> <p>国際大会に出場する選手に対して、激励金を支給した。</p> <p>大会名 第23回デフリンピック競技大会</p> <p>出場者 中・長距離マラソンコーチ 山田 真人</p> <p>大会名 2018平昌冬季パラリンピック</p> <p>出場者 男子アルペンスキー 鈴木 猛史</p> <p>助成額 選手 50,000 円</p> <p> コーチ 30,000 円</p> <p>イ 全国スポーツ競技会等出場助成事業</p> <p>各競技種目の全国大会及び東北大会に出場する選手（団体競技含む）役員に対し、経費の一部を助成した。</p> <p>団体数 延べ 13 件</p> <p>個人数 延べ 9 件</p> <p>助成額 545,156 円</p>		
参考			

事業名	②運動導入教室開催事業	決算額	594,952 円
目 的	<p>2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催決定の盛り上がりを見せるこの機会に、障がい児には遊びを通して身体を動かすことの喜びを、在宅障がい者には積極的なスポーツ活動をとおして社会参加・自立・復帰の促進を図る。また、2020年東京オリンピック・パラリンピックへ向けたジュニア（キッズ）選手を発掘するとともに障がい者スポーツの裾野拡大を図る。</p>		
内 容	<p>実施期日：平成29年4月6日（木）～平成30年3月29日（木） 毎週木曜日実施</p> <p>実施回数：63回</p> <p>実施場所：郡山市障害者福祉センター 参加者数：延べ370名</p> <p>指 導 員： 理学療法士3名（障がい者スポーツ指導員有資格者） 整形外科医1名（障がい者スポーツ医有資格者） 補装具アドバイザー1名（障がい者スポーツ指導員有資格者） 自動車整備士1名 （障がい者スポーツ指導員・福祉自動車整備士有資格者） 障がい者スポーツ指導者2名（スポーツコーチ、中級等上級資格者）</p> <p>事業内容： 障がい者が運動を始める際の医事、スポーツ障がい予防、補装具等についての相談・指導。</p>		
参 考			

事業名	③種目別教室開催事業	決算額	2,979,751 円
目的	パラリンピックや全国障害者スポーツ大会（公開競技含）などの種目競技において、選手の育成・強化と普及・拡大を一本化するスポーツ教室を開催し、夏季・冬季パラリンピック（2020・2028年）、スペシャルオリम्ピックス、各競技日本選手権大会などに出場できる選手の競技力を向上するとともに、スポーツを習慣とする愛好者の拡大を図る。		
内容	<p>○実施種目 13 種目</p> <p>陸上競技（全 16 回 参加者数 延べ 424 名）</p> <p>フライングディスク競技（全 14 回 参加者数 延べ 520 名）</p> <p>サッカー（全 8 回 参加者数 延べ 240 名）</p> <p>ボッチャ（全 9 回 参加者数 延べ 131 名）</p> <p>卓球（全 4 回 参加者数 延べ 22 名）</p> <p>バスケットボール（全 8 回 参加者数 延べ 145 名）</p> <p>グランドソフトボール（全 8 回 参加者数 延べ 78 名）</p> <p>サウンドテーブルテニス（全 4 回 参加者数 延べ 20 名）</p> <p>アーチェリー（全 3 回 参加者数 延べ 5 名）</p> <p>水泳（全 4 回 参加者数 延べ 9 名）</p> <p>車椅子バスケットボール（全 8 回 参加者数 延べ 64 名）</p> <p>バドミントン（全 4 回 参加者数 延べ 5 名）</p> <p>クロスカントリースキー（全 1 回 参加者 延べ 5 名）</p>		
参考			

事業名	④県内各障がい者スポーツ大会支援事業	決算額	554,968 円
目的	<p>各競技のスポーツ教室、練習会等に参加した選手が、練習の成果を発揮するために上位大会を目標とすることで、競技力向上と継続の意欲を高める。</p> <p>また、障がい者スポーツへの理解・関心の拡大を図るため、競技活動の広報に努め、障がい者スポーツの普及・振興と裾野拡大を促進する。</p>		
内容	<p>○事業概要</p> <p>県内で開催される各競技種目の大会に対して助成を行う。</p> <p>障がい者スポーツ団体が財政的に苦しい中で開催している大会を支援することで、県内で競技会に参加できる機会の確保を行う。</p> <p>○対象大会 8大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第54回福島県ろうあ者スポーツ大会 ・第3回福島県ハンドバイク・トラック競技大会 ・2017北海道東北パラ陸上競技選手権大会 ・第18回福島県障がい者フライングディスク大会 ・2017車椅子バスケットボール大会～第2回ヒマワリ杯 ・福島県障害者スキー大会 ・SFIDA-CAP ・2017東日本FIDバスケットボールフェスティバル 		
参考			

事業名	⑤国際障がい者アスリート支援事業	決算額	104,506 円
目的	国際的に活躍する障がい者アスリート、障がい者スポーツ指導者（コーチ）及びボランティアの増加及び資質向上を図る。特に国際舞台で活躍できる人材を育成する。		
内容	<p>各競技の強化選手及び指導者、障がい者スポーツシーン英会話レッスン講習会を開催した。</p> <p>実施期日：平成 29 年 9 月 8 日～平成 30 年 2 月 16 日</p> <p>実施回数：10 回</p> <p>受講生数：延べ 23 名（選手 3 名）</p> <p>※福島市でのみ実施</p>		
参考			

事業名	⑥ふくしまパラアスリート支援事業・ふくしまパラコーチ育成支援事業	決算額	1,204,299 円
目的	2020年東京パラリンピック等での活躍が期待できる本県選手の輩出や選手の育成等及び本県障がい者スポーツの競技力向上の推進役として期待される指導者を、「ふくしまパラアスリート」・「ふくしまパラコーチ」に指定し、強化練習会等に参加する費用を補助する。		
内容	<p>○ふくしまパラアスリート（16名）</p> <p>(1) 遠藤裕美（ボッチャ） (2) 佐藤智美（陸上競技） (3) 佐々木真菜（陸上競技） (4) 岡部蘭（陸上競技） (5) 庭瀬ひかり（陸上競技） (6) 緑川秀太（陸上競技） (7) 矢内奈々美（陸上競技） (8) 桑折洋也（陸上競技） (9) 佐藤光（陸上競技） (10) 半谷静香（視覚障害柔道） (11) 豊島英（車いすバスケットボール） (12) 森谷幸生（車いすバスケットボール） (13) 橋本勝也（ウィルチェアーラグビー） (14) 高橋剛志（車椅子テニス） (15) 遠藤雅輝（水泳） (16) 八重樫拓也（水泳）</p> <p>○ふくしまパラコーチ（7名）</p> <p>(1) 村上光輝（ボッチャ） (2) 若松伸司（ボッチャ） (3) 日下奈月（陸上競技） (4) 要田忠継（陸上競技） (5) 高橋功（陸上競技） (6) 湯田吉幸（陸上競技） (7) 山内淳（陸上競技）</p>		
参考			

[公益事業] (5) 障がい者スポーツに関する普及啓発及び広報

事業名	協会広報紙の発行	決算額	530,472 円
目的	賛助会員に対して、協会広報紙を発行し、情報提供を行う。		
内容	<p>○広報紙の発行 年1回広報紙を発行した。 平成30年3月「福島県障がい者スポーツ協会だより 第37号」発行</p> <p>○発行部数 2,000部/回</p>		
参考			

[公益事業] (6)障がい者スポーツに関する相談、指導及び調査研究

事業名	障がい者スポーツに関する相談、指導及び調査研究	決算額	137,837 円
目 的	<p>各種会議、講習会等に出席し、最新の情報をもとに、安心安全なスポーツ環境の提供を図る。</p> <p>また、前例のない競技者に対し、補装具・競技用具の専門技術者と共同研究し、日本障がい者スポーツ学会等で発表することで、重度障がい者スポーツの活路を見いだすことを目的とする。</p>		
内 容	<p>①会議等への出席</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度障がい者スポーツ協会・指導者協議会合同会議 開催日：平成 30 年 2 月 20 日（火） 会 場：ヒルトン東京お台場 出席者：(公財) 福島県障がい者スポーツ協会職員 1 名 県担当者 1 名 指導者協議会職員 1 名 ・障がい者スポーツ info2018 開催日：平成 30 年 2 月 21 日（水） 会 場：ヒルトン東京お台場 出席者：(公財) 福島県障がい者スポーツ協会職員 1 名 県担当者 1 名 <p>②日本障害者スポーツ学会への出席</p> <p>開催日：平成 30 年 1 月 27 日（土）～28 日（日） 会 場：国立障害者リハビリテーションセンター 出席者：松尾洋平氏、野村潤氏、要田忠継氏</p>		
参 考			

[公益事業] (7)その他

事業名	①チャレンジド・スポーツ支援事業	決算額	1,605,756 円
目的	東日本大震災復興支援事業等で、企業からの障がい者スポーツ支援事業について協力する。		
内容	<p>東日本大震災復興支援 東北サンさんプロジェクト団体奨励金を活用した事業</p> <p>①ジャンボリーキャンプ開催事業 女子車いすバスケットボール若手世代育成合宿 期 日：平成 29 年 4 月 14 日（金）～16 日（日） 参加者：専門講師 1 名、講師 3 名、補助員 1 名 参加選手 10 名</p> <p>②ウィルチェアーラグビー強化支援 ・日本代表合宿支援（平成 29 年 4 月 3 日（月）～9 日（土）） ・ウィルチェアーラグビー教室開催支援 全 8 回 延べ 41 名参加</p> <p>③チャレンジドスポーツ教室開催 全 9 回 延べ 156 名参加</p>		
参考			

事業名	②公益財団法人日本障がい者スポーツ協会委託事業	決算額	2,821,720 円
目的	<p>指導者協議会と連携し、障がい者が地域において、スポーツに親しむ環境づくりを推進する。</p> <p>また、学校教育における障がい者スポーツ関連授業等に対し、講師の派遣に係る斡旋の協力をし、障がい者スポーツ・福祉への理解を深める。</p>		
内容	<p>①地区スポーツ教室</p> <p>指導者協議会と連携し、地域での障がい者スポーツ教室や大会を開催した。</p> <p> 県北支部・・・教室：二本松市岳体育館、あづま総合体育館等（11回） 大会：チャレンジカップ2017（1回）</p> <p> 相双支部・・・教室：相双地区管内体育及び福祉施設等（8回） 大会：第2回DanDanスポーツ大会（1回）</p> <p> 県中支部・・・教室：郡山市障がい者福祉センター等（11回） 大会：県中エンジョイスportsフェスティバル（1回）</p> <p> いわき支部・教室：いわきサンアビリティーズ等（12回） 大会：いわきSportsフェスティバル（1回）</p> <p> 会津支部・・・教室：会津若松ふれあい体育館等（19回） 大会：会津障がい者Sports大会（1回）</p> <p> 県南支部・・・教室：福島県勤労障がい者体育館等（11回） 大会：fanfan sports!!（1回）</p> <p>②陸上競技審判実践講習会</p> <p> 2017ジャパンパラ陸上競技大会に向けた審判等講習会 平成29年7月22日（土）～23日（日） 延べ109名参加</p> <p>③総合型地域スポーツクラブ協働トライアウト事業</p> <p> 1. いわしろスポーツクラブとの協働事業 全4回 延べ233名参加</p> <p> 2. はらまちクラブとの協働事業 全3回 延べ36名参加</p>		
参考			

事業名	人件費	決算額	8,899,366 円
目的	協会の運営及び事業執行に従事する職員に対する経費		
内容	<p>○協会職員 3名 書記1名、臨時事務職員1名、嘱託員1名 (その他、福島県総合体育大会開催業務として臨時事務職員1名×3月)</p>		
参考			

[法人会計] 協会の運営

事業名	協会の運営に関わる管理経費等	決算額	501,679 円
目的	協会の運営に関わる評議員会、理事会等の会議の開催経費ほか、行政財産使用料、インターネット管理費及びプロバイダー契約料などの使用賃借料など。		
内容	<p>①会議の開催</p> <p>理事会・・・第1回理事会 平成29年6月12日 「平成28年度事業報告・収支決算について 外」</p> <p>臨時理事会 平成29年8月10日 「公益財団法人福島県障がい者スポーツ協会医科学委員会の設置について」</p> <p>第2回理事会 平成30年3月6日 「平成29年度事業計画・収支予算について 外」</p> <p>評議員会・・・第1回評議員会 平成29年6月28日 「平成28年度事業報告・収支決算について 外」</p> <p>第2回評議員会 平成30年3月27日 「平成30年度事業計画・収支予算について 外」</p> <p>監事監査・・・平成29年6月6日(火) 「平成28年度事業実績・収支決算について」</p> <p>②賛助会員拡大及び協賛企業確保に向けた活動</p> <p>・賛助会費募集活動</p> <p>日 時：平成29年6月29日(木)</p> <p>訪問先：福島県医師会、福島県建設業協会</p> <p>出席者：工藤理事長、照山副理事長、伊藤副理事長</p> <p>③各種助成金・補助金の獲得</p> <p>○地域振興事業助成金（日本障がい者スポーツ協会） 3,000,000 円</p> <p>○チャレンジドスポーツ 1,400,000 円</p> <p>④第1回障がい者スポーツ医科学委員会</p> <p>開催日：平成29年8月22日(火)</p> <p>会 場：福島県庁北庁舎1階相談室</p> <p>出席者：大井 直佳 氏、松尾 洋平 氏、野村 潤 氏 (公財) 福島県障がい者スポーツ協会職員 4名</p>		
参考			